

調布市は、人口が急増しておりますが、子ども家庭支援センターなどを通じて、子育てに安心できる環境の整備が、町の活性化につながっていると思われました。

小鹿野町は、「生涯現役・いきいき小鹿野」を目指して、介護予防・生活支援の拠点施設「般若の丘・いきいき館」を約2億円の全額国庫補助を受けて整備し、延べ床面積720㎡・年間運営費約1千2百万円で事業を展開していました。

高齢者向けのトレーニング機器を使用して、筋力を向上し柔軟性を養い、バランス能力を高める「筋力向上トレーニング教室」は、町立病院のスタッフが個別の運動プログラムを作成し、運動能力の向上を図り、要介護状態になることを防いでいました。また、老人クラブを対象とした、健康づくり・生きがい活動支援通所事業では、音楽療法・ステップ体操・生き生きウォークなど「健康寿命の延伸」を図る事業を推進していました。少子高齢化が進行する



都市再生推進、区画整理事業、優良企業誘致について

研修地

熊本町 菊陽町
宮崎県 佐土原町

研修結果

菊陽町は、熊本市の南東部に位置し、面積約38K㎡の町で、年間2千人余りの人口の増加が見られ、今年の4月には3万人を超えた、人口増加率県内で1位の町です。

開発行為などで設置された空き地を街区公園として積極的に寄附を受けており、それらの公園70カ所を初め近隣公園3カ所、総合公園1カ所が整備されています。

公園の管理には、街区公園、近隣公園の大半は地元、一部はシルバー人材センターへ委託し、剪定、消毒などは直接業者へ委託していました。総合公園の菊陽杉並木公園については公園運営委員会を設

立し、敷地内の公園管理センター内で、所長を含む13名の職員により管理、運営を行っていました。管理費は、街区、近隣、総合公園合わせて3千万円余りを支出していました。

今後、研修の成果を議会活動に結び付けていきます。

佐土原町は、宮崎県の日向灘に面したほぼ中央に位置し、面積約57K㎡で、人口3万人余りの町であります。

現在JR佐土原駅周辺の混在化し、老朽化した店舗や住宅を計画的に3・6haの区画内に移転させ、あわせて県道の道路拡張により、駅周辺の整備改善を図る目的で佐土原駅前土地改良整備事業を施行しており、今年度内には事業が完成するとのことでした。

優良企業の誘致については、「頭脳産業の拠点」と位置付け、23区画11ha余りの敷地が開



産業建設常任委員会

研修目的

公園整備と管理について